資料－３

第６回　鳥海ダム建設事業マネジメント委員会

令和４年度事業実施状況及び令和５年度事業計画について

（※「不開示情報」を省いた構成にしております）

東北地方整備局　鳥海ダム工事事務所
令和５年５月２９日（月）

前回委員会（R4.8.4）の意見と対応

○令和3年度事業実施状況及び令和4年度事業計画について

［意見］

・令和3年度及び令和4年度の事業実施状況・進捗状況について確認した。
・コスト縮減の検討及び実施内容を確認した。
・引き続き、工程監理・品質の確保・安全管理に努めること。
・鳥海ダムの特徴を踏まえた計画設計を進めること。

［対応］

所内において、工程会議や事業調整会議、安全パトロールなどを実施しながら事業監理を行った。また、鳥海ダムの特徴を踏まえ合理的な設計を行い、引き続き、工程監理・品質の確保・安全管理に十分留意し、効率的な事業推進に努めた。

○鳥海ダム周辺の観光資源への配慮

［意見］

・鳥海ダム周辺の観光資源に配慮して工事を進めること。

［対応］

各種イベント時には、由利本荘市と調整し、観光者の通行を優先するなど配慮するとともに、路面を汚損した際には速やかに清掃を行い、快適に利用できるように努めた。

また、ダム建設事業も一つの観光資源としてとらえ、鳥海ダムダムサイト周辺の工事現場を一望できる展望所を設置し、展望所には記念撮影用のパネルの設置や、ダム事業の概要パネルを設置するなど、観光資源と連携を図り、工事を実施した。

事　業　概　要

鳥海ダムの目的

子吉川沿川の洪水被害の軽減、流水の正常な機能の維持、由利本荘市への水道用水の供給並びに発電を目的に鳥海ダムを計画しています。

鳥海ダムの諸元

ダ　ム　型　式	台形ＣＳＧ
ダ　　ム　　高	81.0 m
堤　　頂　　長	380.4 m
堤　　体　　積	約 1,438千 m^3
総 貯 水 容 量	約 46,800千 m^3
湛　水　面　積	3.1 km^2
集　水　面　積	83.9 km^2

※基本計画変更後の諸元

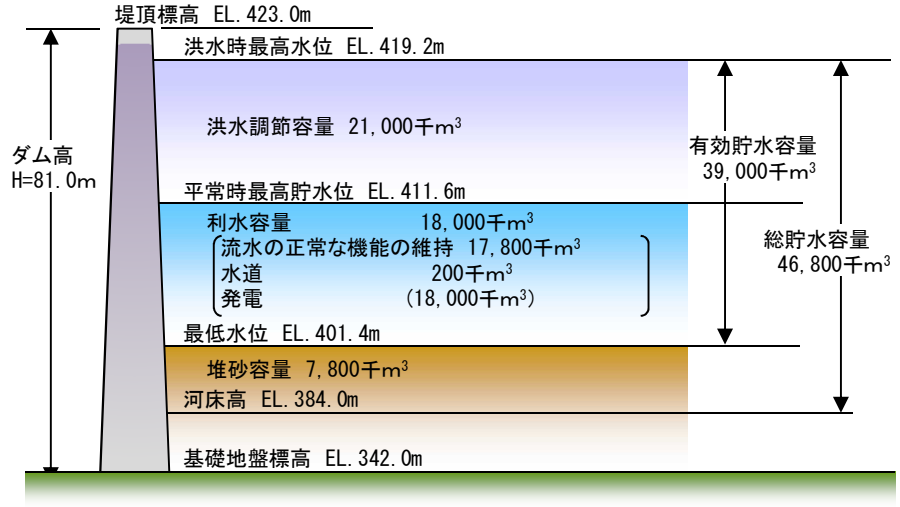
①洪水調節
ダム地点の計画高水流量780m^3/sのうち700m^3/sを調節し、子吉川流域の洪水の低減を図る。

②流水の正常な機能の維持
子吉川における流水の正常な機能の維持と増進を図る。

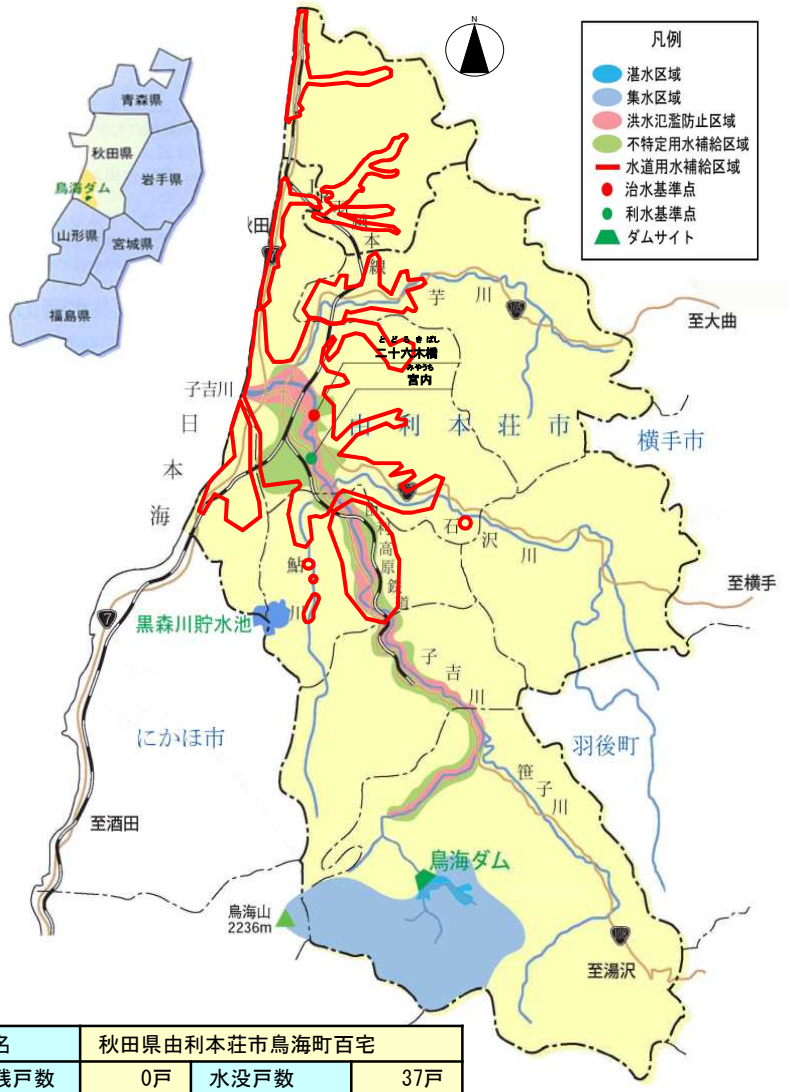
③水道用水
由利本荘市に対し、新たに1日最大20,670m^3（0.239m^3/s）の水道用水の取水を可能にする。

④発電
秋田県がダムの放流水を活用して最大出力990kWの発電を行う。

＜鳥海ダム貯水池容量配分図＞



鳥海ダム受益地位置図



水没地域名	秋田県由利本荘市鳥海町百宅		
移転対象残戸数	0戸	水没戸数	37戸
移転対象残人口	0人	水没人口	70人
		水没農地	97ha

令和5年3月末時点

【R4】 事業費の概要

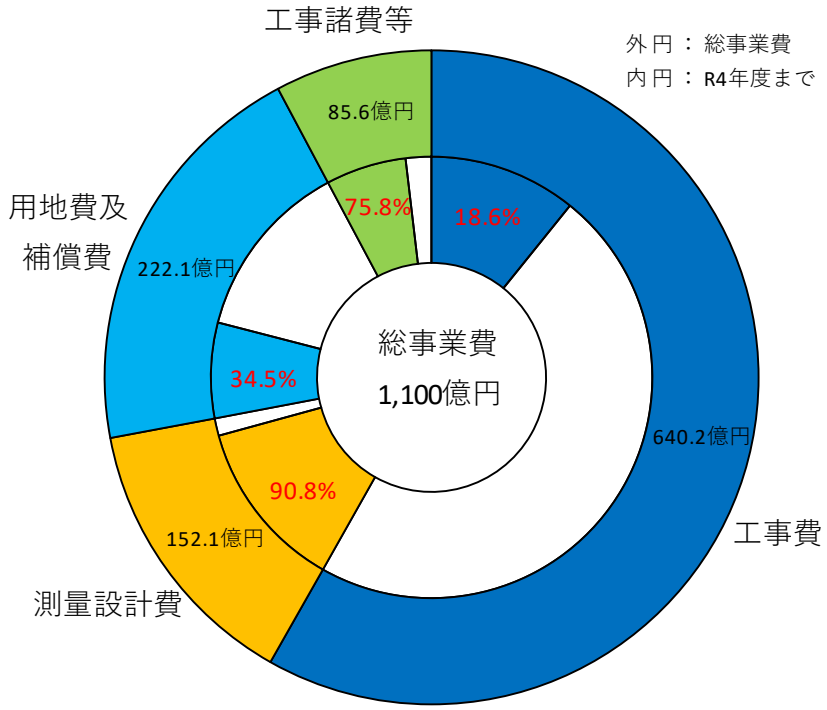
事業費の執行状況

	総事業費（億円）	R４年度まで		残事業費（億円）
		事業費（億円）	執行率	
工事費	640.2	118.8	18.6%	521.4
測量設計費	152.1	138.1	90.8%	14.0
用地費及補償費	222.1	76.7	34.5%	145.4
工事諸費等	85.6	64.9	75.8%	20.7
合計	1,100	398.5	36.2%	701.5

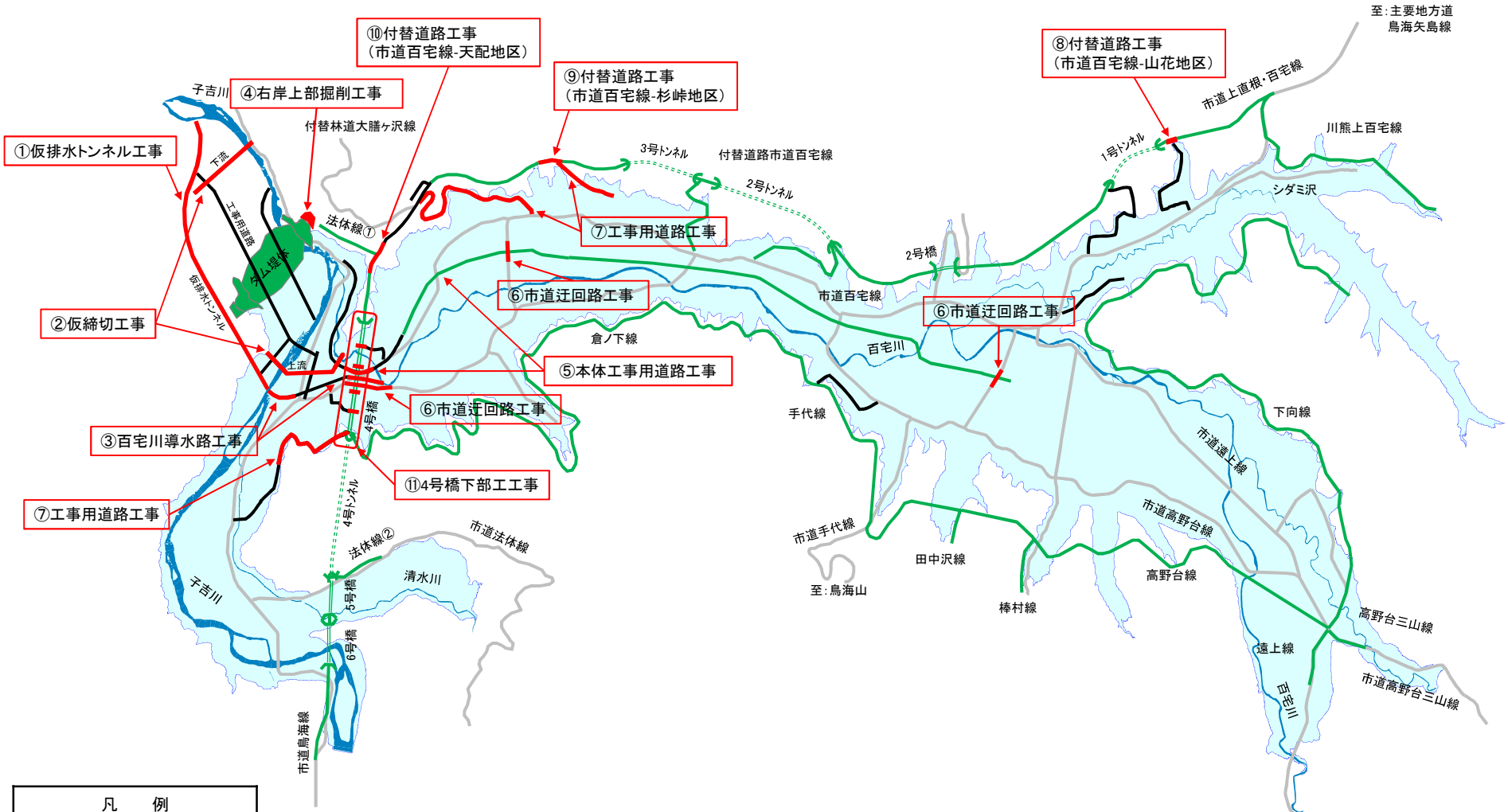
令和4年度の予算状況

	R4年度		
	当初（億円）	補正（億円）	合計（億円）
工事費	57.0	9.6	66.6
測量設計費	6.3	1.9	8.3
用地費及補償費	23.3	0.0	23.3
工事諸費等	4.5	0.2	4.7
合計	91.1	11.7	102.9

※工事諸費等：船舶及機械器具費、事業車両費、営繕費、宿舎費、



令和4年度の主な工事実施内容

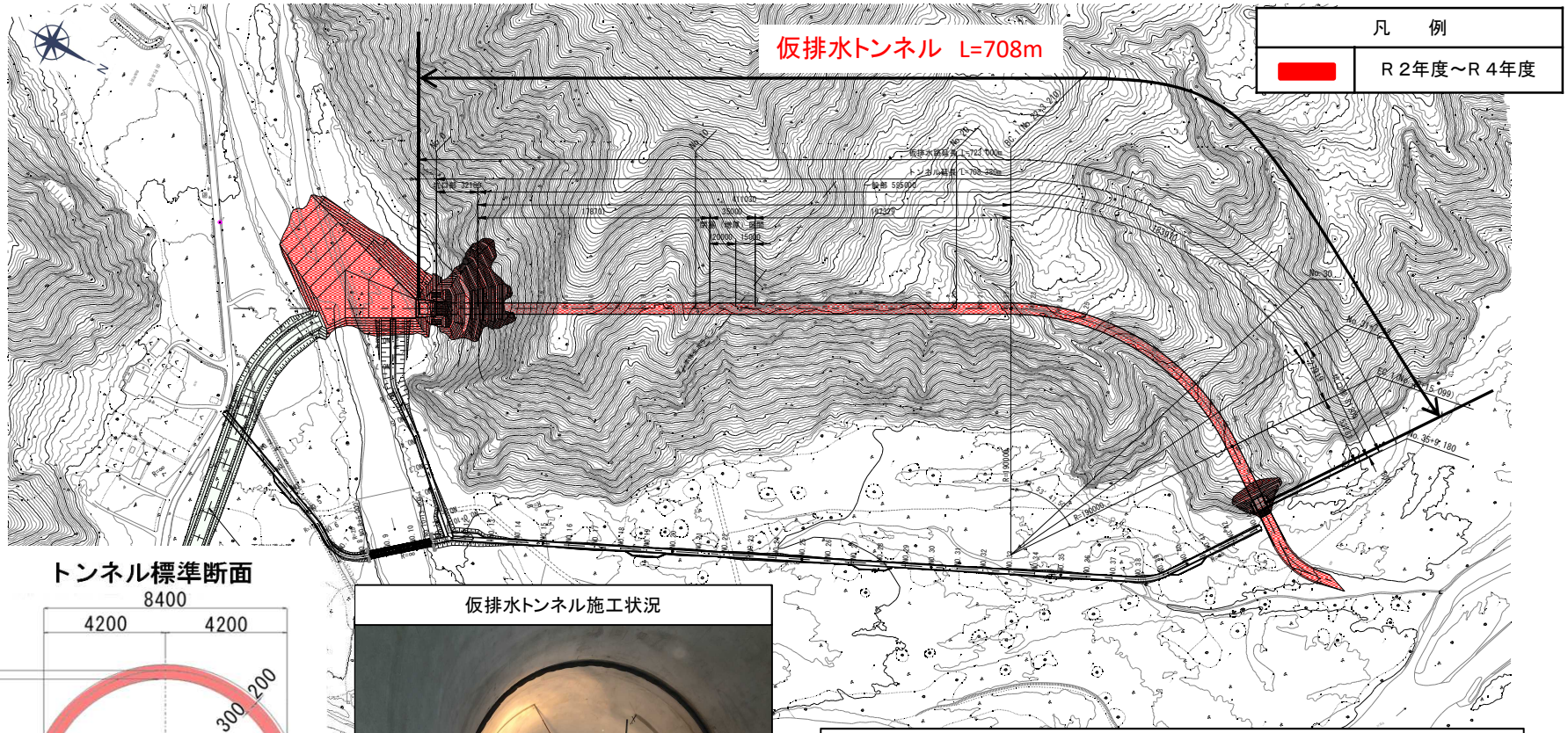


凡　例	
	付　替　道　路
	橋　　梁
	ト　ン　ネ　ル
	貯　　水　　池

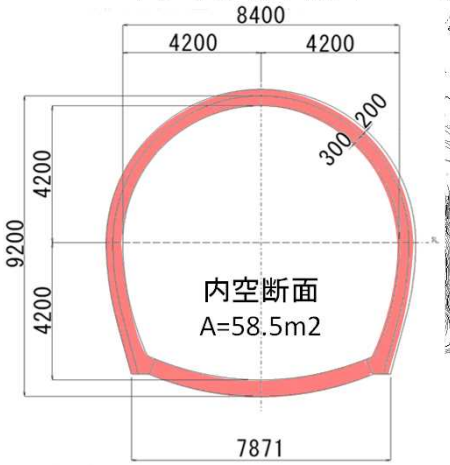
凡　例	
	R 3年度まで
	R 4年度
	R 5年度以降

【R4】 ①転流工　仮排水トンネル工事

・ダムサイト施工スペースを確保するため、子吉川を転流させる仮排水トンネル工事。



トンネル標準断面



仮排水トンネル施工状況

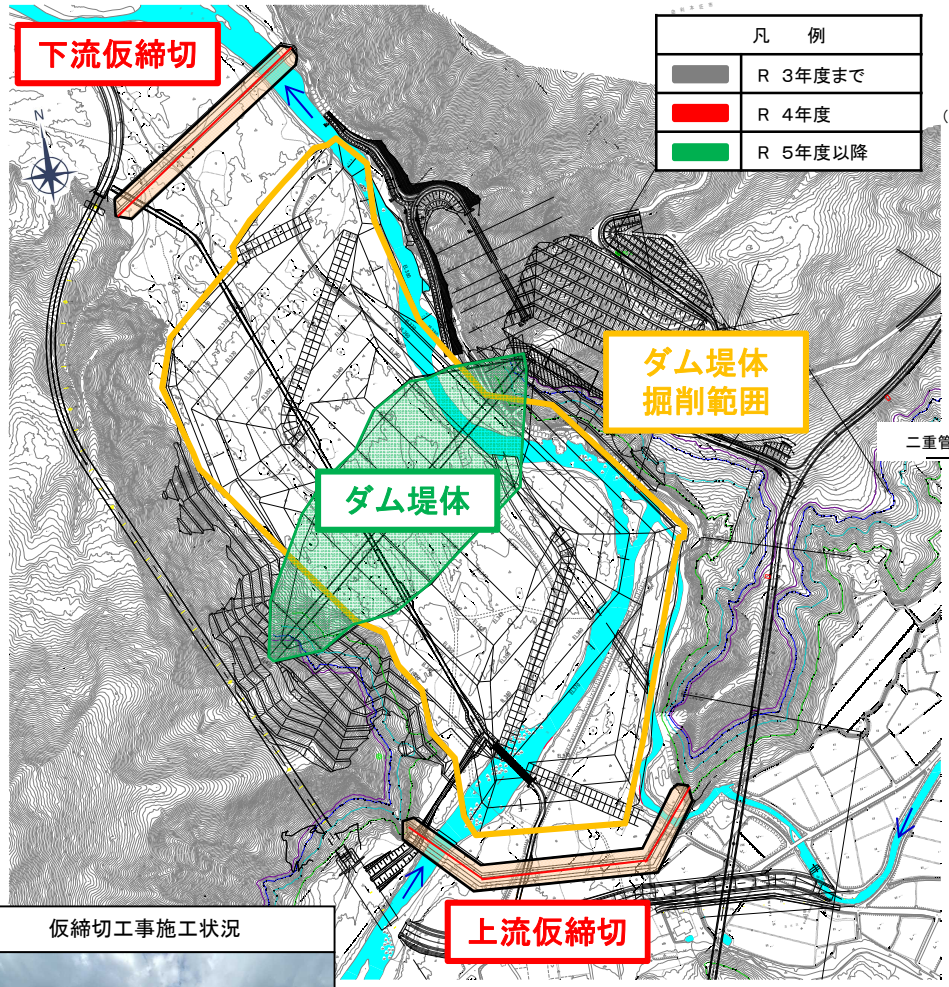


【R４　工事の概要】

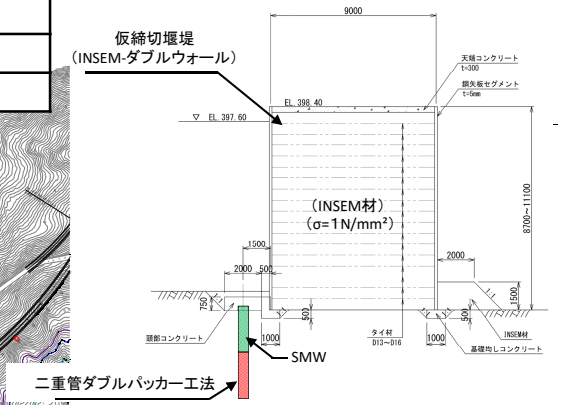
・掘削	V=	４７，４００m３
・盛土	V=	９００m３
・法面工	N=	１式
・トンネル工	N=	１式
・覆工工	N=	１式
・インバート工	N=	１式
・坑門工	N=	１式

【R4】 ②仮締切工事

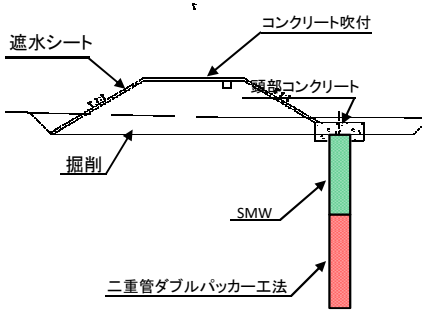
・令和4年度は、上下流仮締切共に、SMW+二重管ダブルパッカーによる地中壁工事。



上流仮締切（標準断面図）



下流仮締切（標準断面図）



【R４　工事の概要】

○上流仮締切

- **掘削　　V=　７，５００ｍ３**
- **法面整形工　　N=　１式**
- **地中連続壁工　　N=　１式**

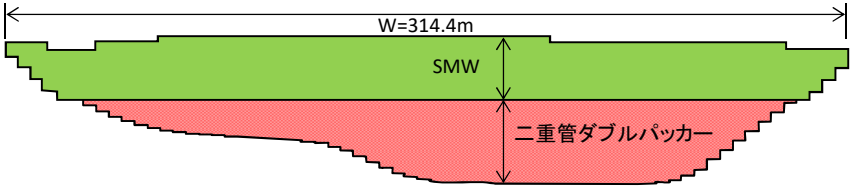
○下流仮締切

- **掘削　　V=　３，０００ｍ３**
- **法面整形工　　N=　１式**
- **地中連続壁工　　N=　１式**

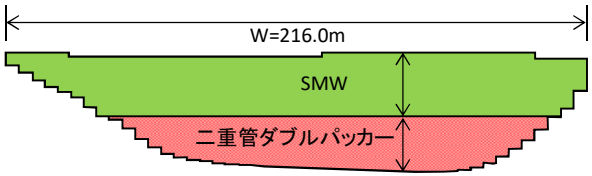
仮締切工事施工状況



上流仮締切　地中連続壁縦断図

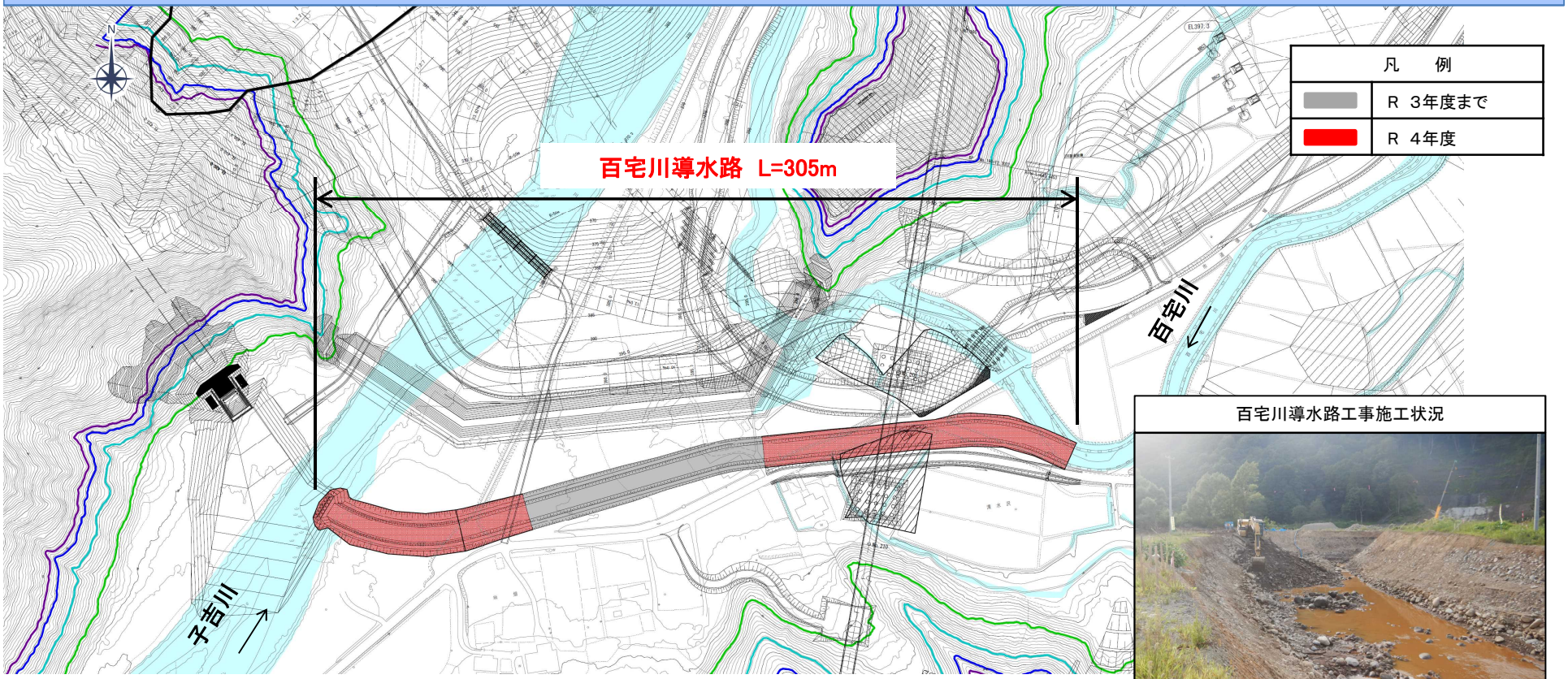


下流仮締切　地中連続壁縦断図



【R4】 ③百宅川導水路工事

・ダムサイト施工スペースを確保するため、百宅川を仮排水トンネルへ転流させる導水路工事。

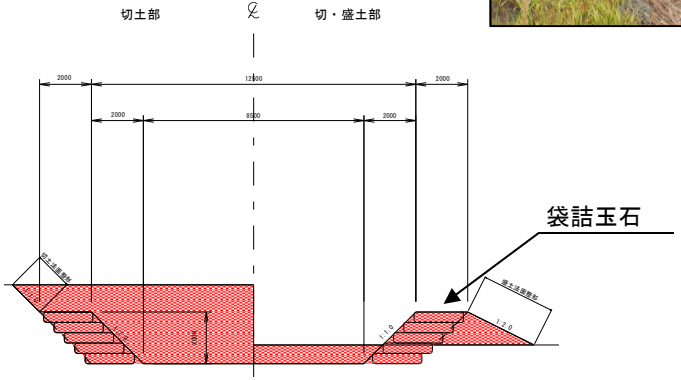


百宅川導水路工事施工状況

【R４ 工事の概要】

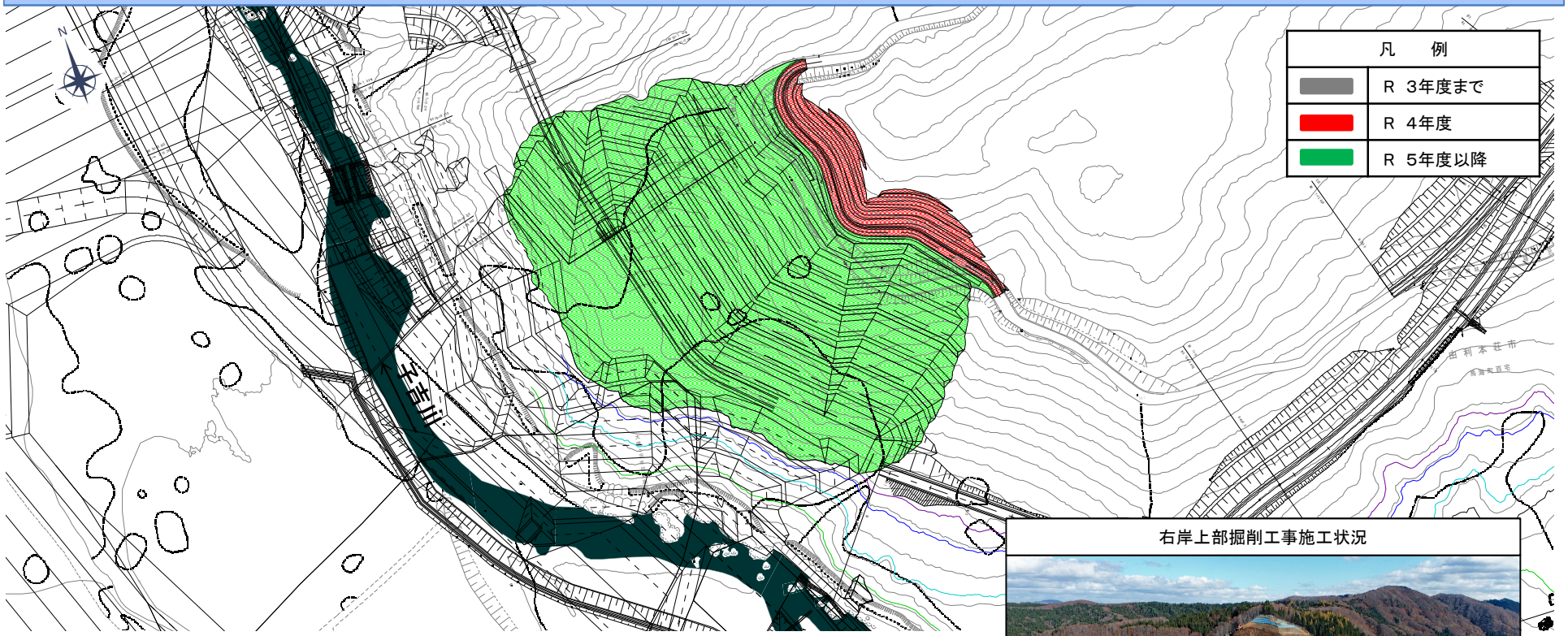
・掘削	V=	１５，８００m３
・盛土	V=	２７０m３
・法面整形（切土部）	A=	１，４２０m２
・法面整形（盛土部）	A=	２９０m２
・袋詰玉石	N=	１，６００袋

標準横断図



【R4】 ④右岸上部掘削工事

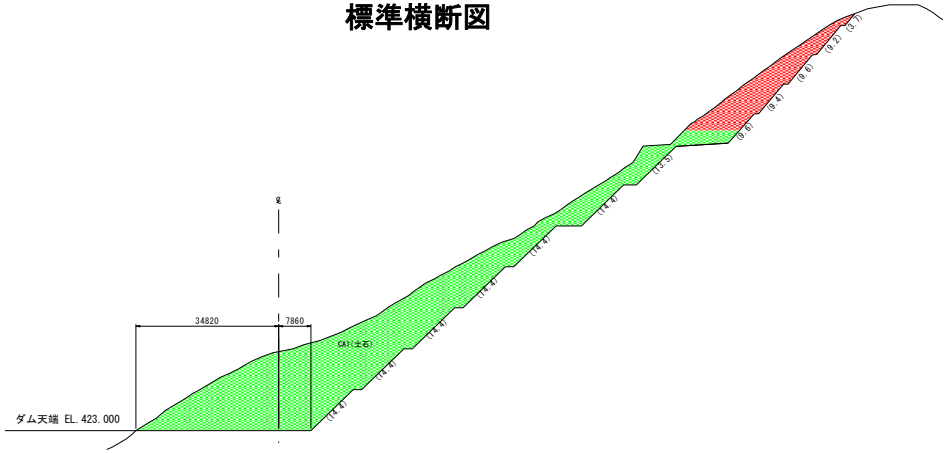
・ダムサイト施工に向けて、ダム天端上部の掘削、法面工を行う。



右岸上部掘削工事施工状況



標準横断図

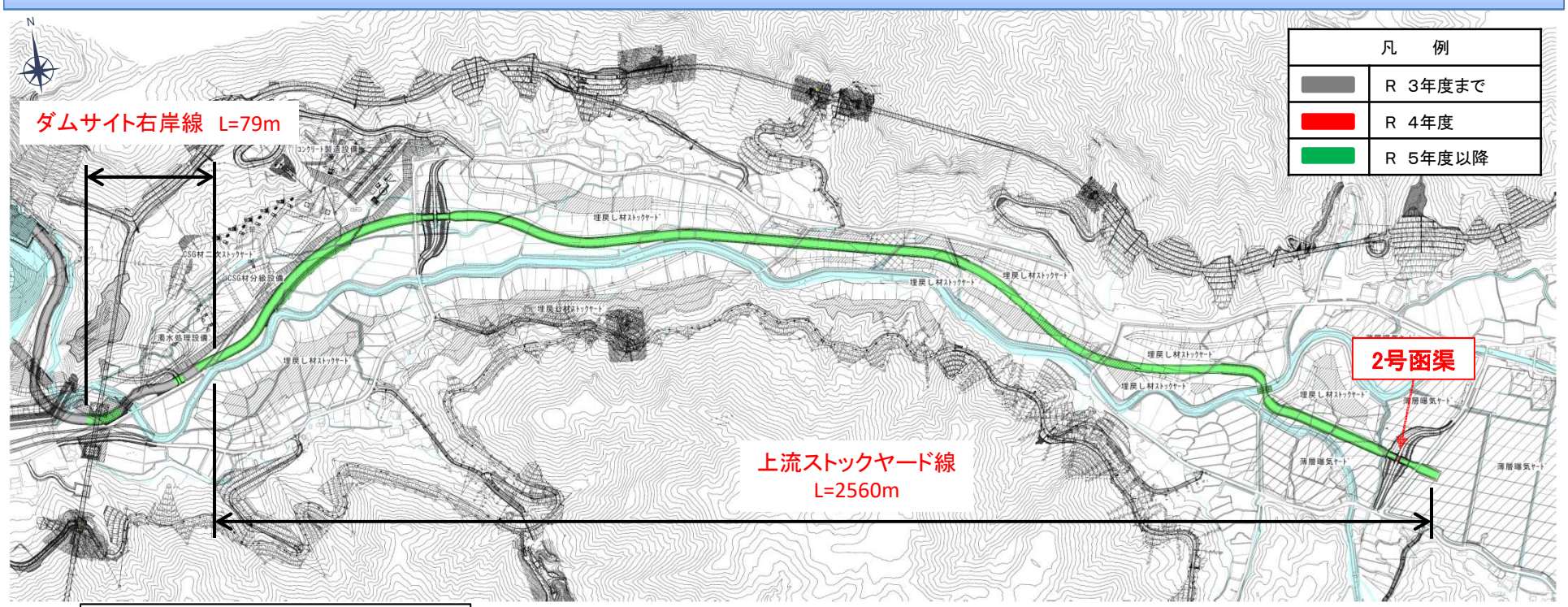


【R４　工事の概要】

・掘削	V=	３３，３００m３
・法面工	A=	２，７００m２

【R4】 ⑤本体工事用道路工事

・ダムサイト工事箇所へ進入するための工事用道路を造成。

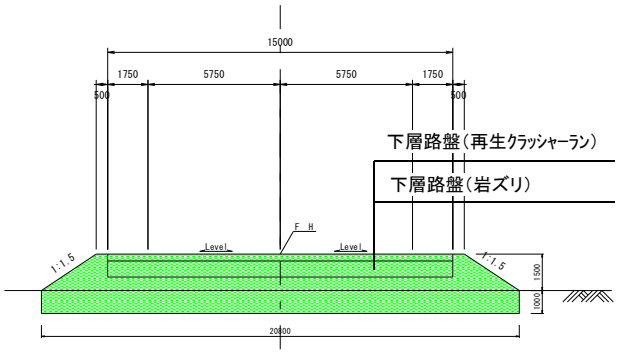


本体工事用道路工事施工状況

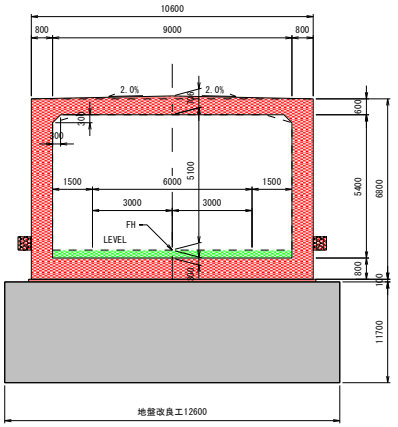


【R４ 工事の概要】
・カルバートエ　　N=　１式（2号函渠）

標準横断図



２号函渠工断面図



【R4】⑥市道迂回路工事

・本体工事用道路施工に伴い、市道を切回すための市道迂回路工事。



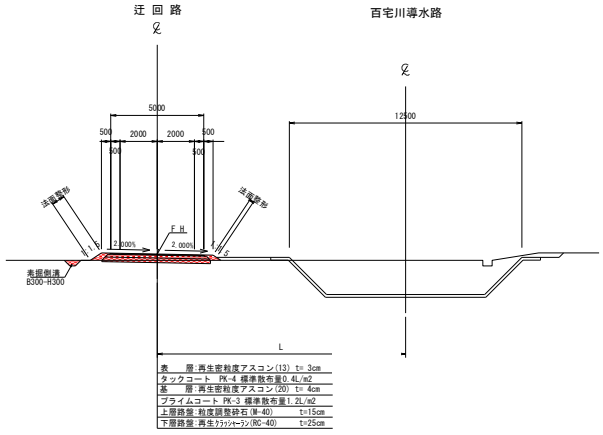
市道迂回路工事施工状況

【R４ 工事の概要】

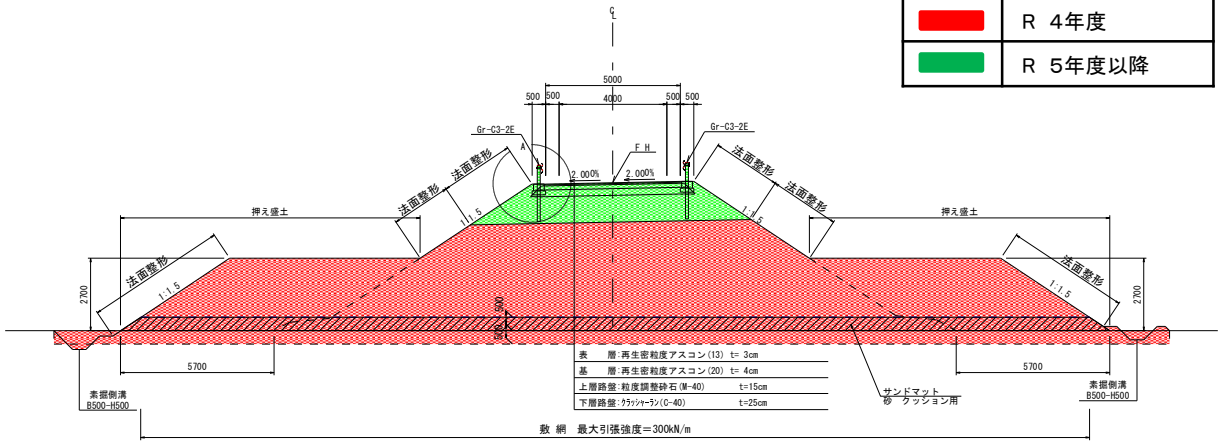
・掘削	V=	５，０００ｍ３
・路体盛土	V=	２７，０００ｍ３
・法面整形（盛土部）	A=	３，９００ｍ２
・路盤工	A=	３８，４００ｍ２
・排水構造物工	N=	１式
・防護柵工	N=	１式
・道路付属施設工	N=	１式

凡　例	
	R ３年度まで
	R ４年度
	R ５年度以降

市道迂回路標準横断図



市道百宅線・手代線標準横断図



【R4】⑦工事用道路工事

・付替道路市道百宅線の工事箇所へ進入するための工事用道路を造成する。

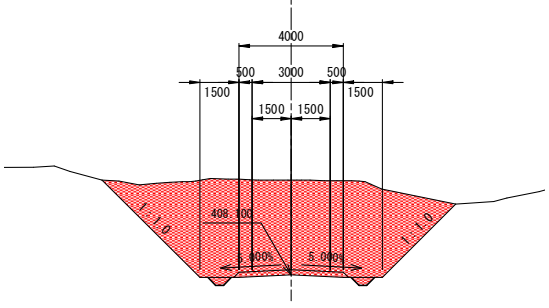


①【杉峠地区】施工状況

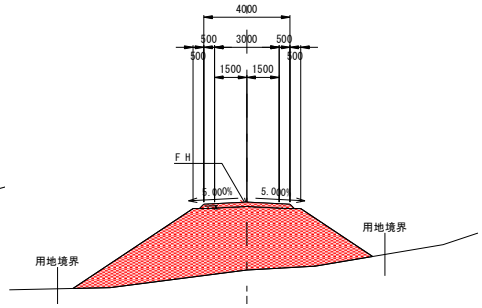
②【大膳ヶ沢地区】施工状況

③【滝ノ上地区】施工状況

標準横断図（切土部）



標準横断図（盛土部）

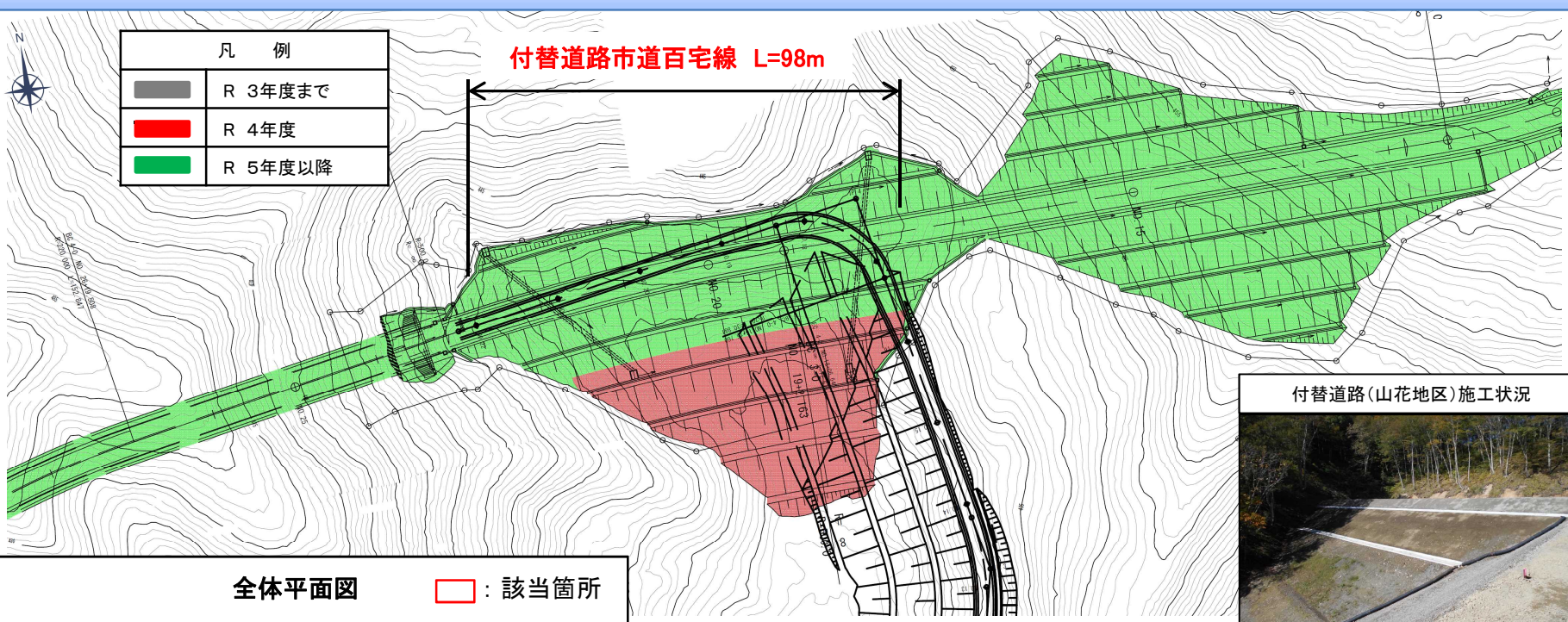


【R４　工事の概要】

・掘削	V=	２３，２００m３
・路体盛土	V=	３９，４００m３
・法面整形（盛土部）	A=	１０，３００m２
・法面整形（切土部）	A=	７，３００m２
・舗装工	N=	１式
・排水工構造物工	N=	１式
・側溝工	N=	１式
・法面工	N=	１式
・敷砂利	A=	２，３００m２
・仮設工	N=	１式

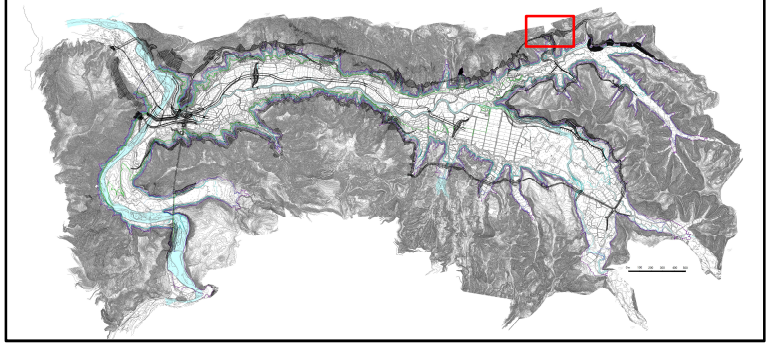
【R4】 ⑧付替道路工事（市道百宅線-山花地区）

・付替道路市道百宅線工事を行う。

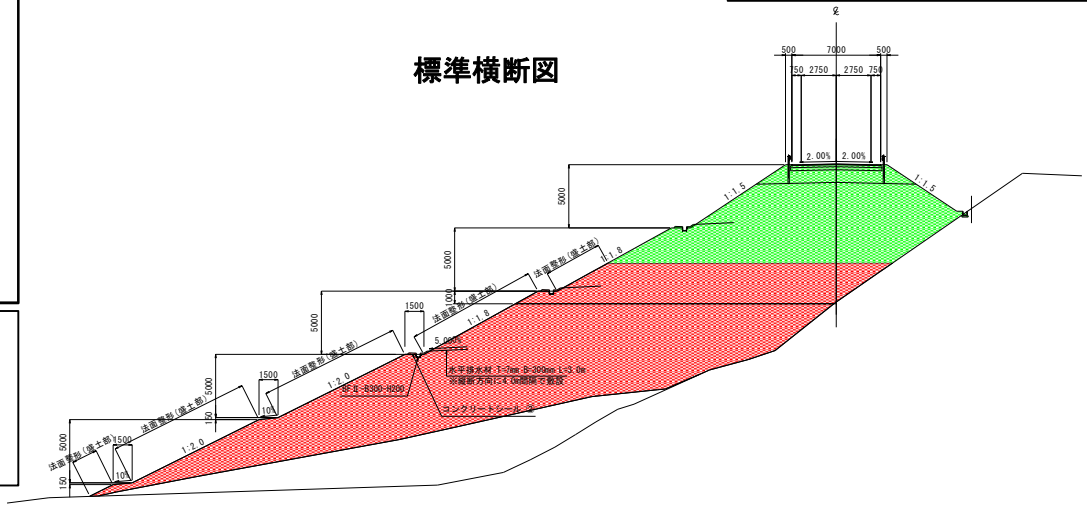


付替道路（山花地区）施工状況

全体平面図　　：該当箇所



標準横断図

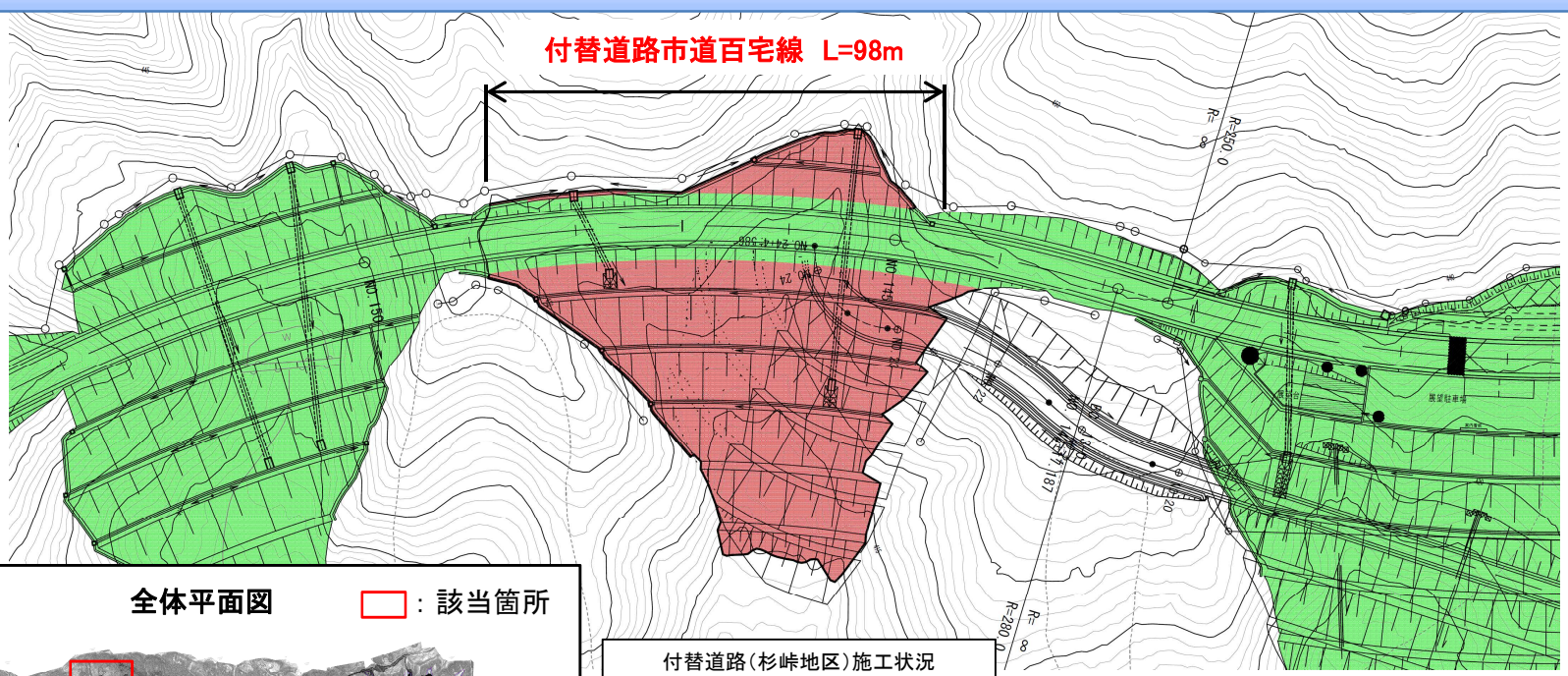


【R４ 工事の概要】

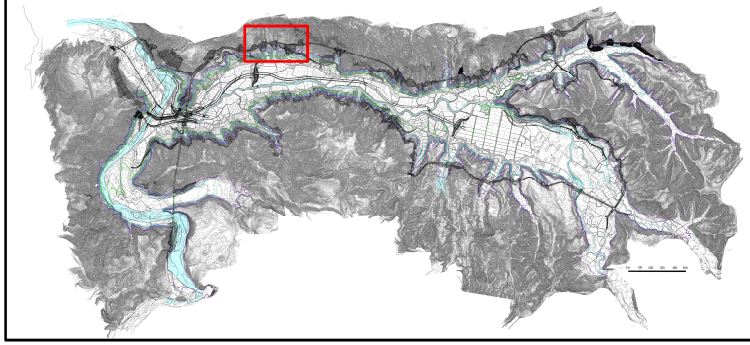
- 盛土　V=　２６，４００m３
- 法面整形工（盛土部）A=　１，７６０m２
- 排水構造物工　N=　１式

【R4】 ⑨付替道路工事（市道百宅線-杉峠地区）

・付替道路市道百宅線工事を行う。



全体平面図　　：該当箇所



付替道路（杉峠地区）施工状況



標準横断図

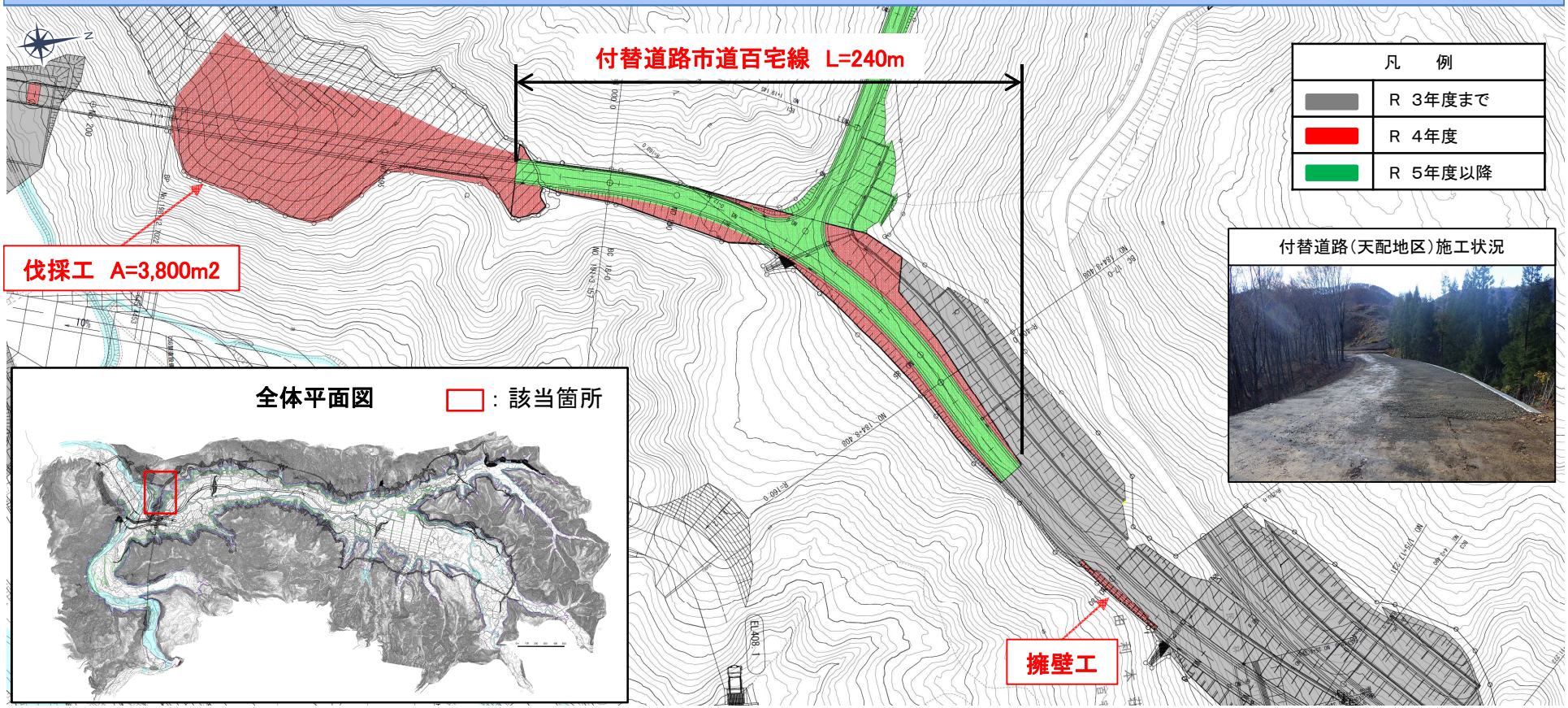
【Ｒ４　工事の概要】

- 切土　　V=　１，８００ｍ３
- 盛土　　V=　２９，７００ｍ３
- 法面整形（切土部）A=　５００ｍ２
- 法面整形（盛土部）A=４，５００ｍ２
- 排水構造物工　　N=　１式

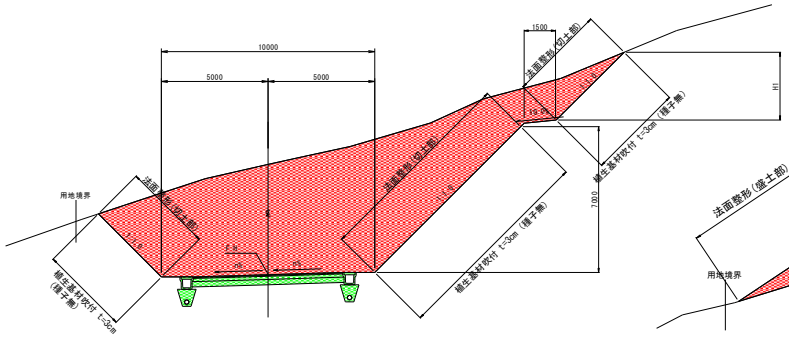
凡　例	
	Ｒ 3年度まで
	Ｒ 4年度
	Ｒ 5年度以降

【R4】 ⑩付替道路工事（市道百宅線-天配地区）

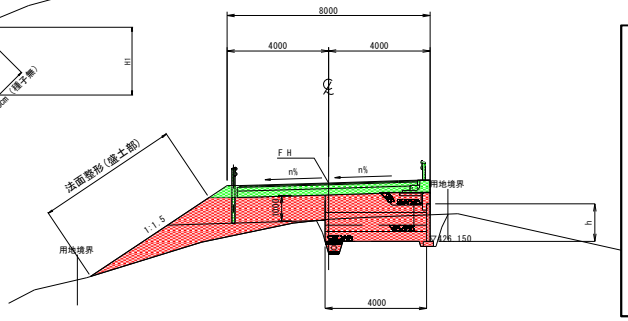
・付替道路市道百宅線工事を行う。



標準横断図（切土部）



標準横断図（盛土部）

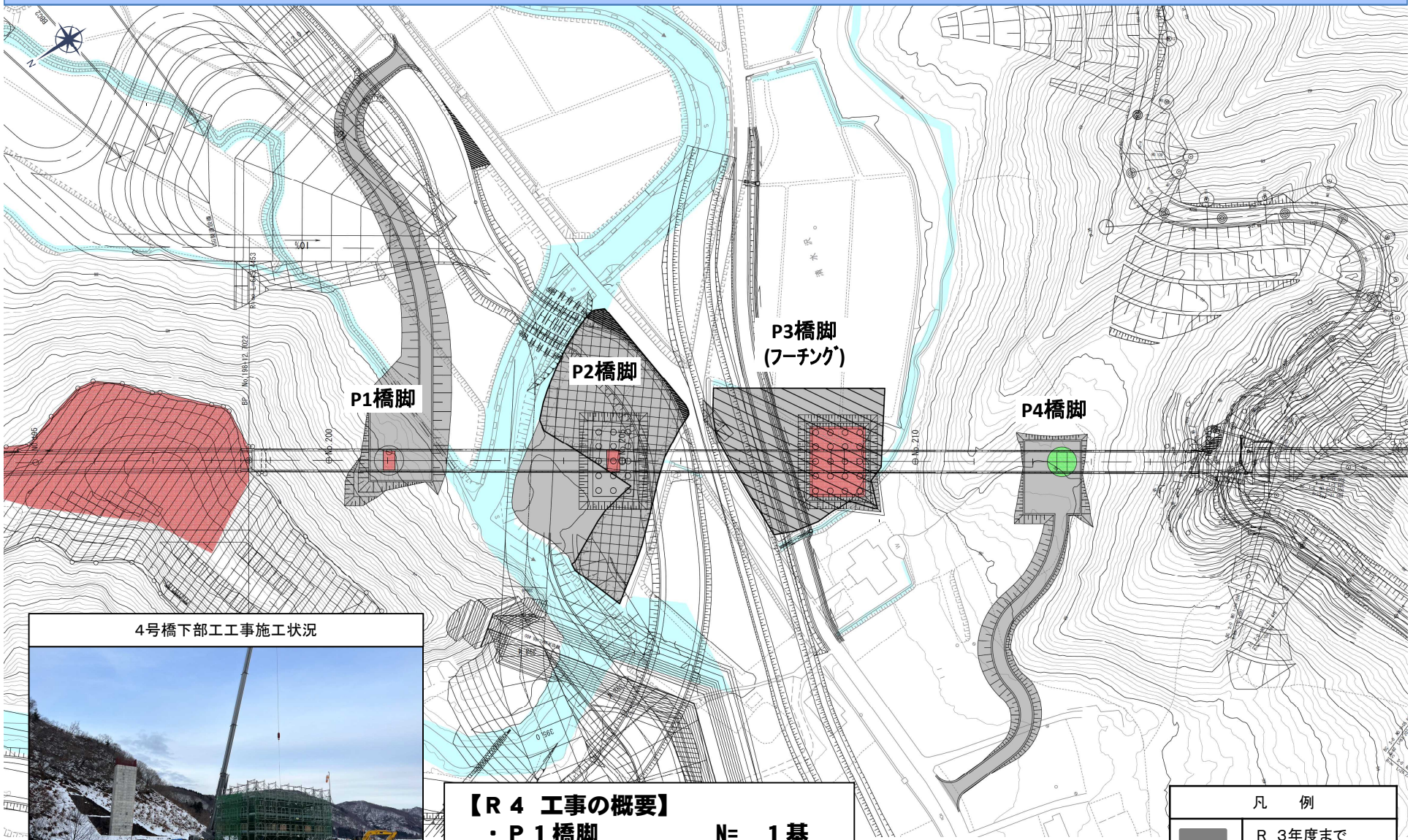


【R４　工事の概要】

- 切土　V=　4，９００m３
- 盛土　V=　７００m３
- 法面整形（切土部）A=１，０００m２
- 法面整形（盛土部）A=　３００m２
- 擁壁工　N=　１式
- 伐採工　A=　３，８００m２

【R4】 ⑪付替道路4号橋下部工工事

・付替道路4号橋下部工（橋脚）を施工する。



4号橋下部工工事施工状況

【R４ 工事の概要】

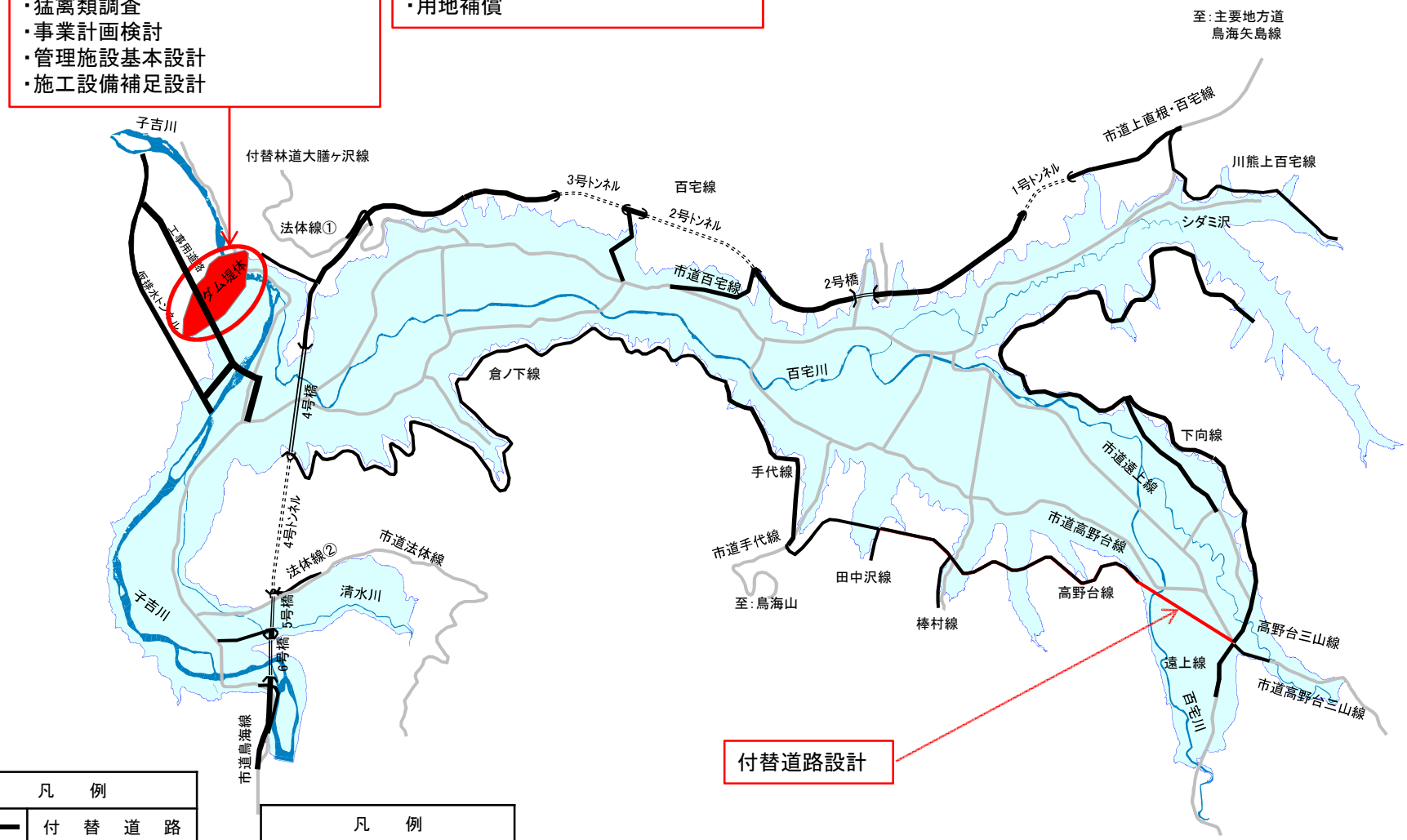
・Ｐ１橋脚	N=	１基
・Ｐ２橋脚	N=	１基
・Ｐ３橋脚（ﾌｰﾁﾝｸﾞ）	N=	１基

凡　例	
	R 3年度まで
	R 4年度
	R 5年度以降

令和4年度の主な業務実施内容

＊ダムサイト
- 経済波及効果検討
- 堤体材料試験
- 猛禽類調査
- 事業計画検討
- 管理施設基本設計
- 施工設備補足設計

＊その他
- 事業認定事前相談資料作成
- 用地調査測量
- 用地補償



凡　例	
	付　替　道　路
	橋　　梁
	ト　ン　ネ　ル
	貯　　水　　池

凡　例	
	R 3年度まで
	R 4年度
	R 5年度以降

【R5】 事業費の概要

事業費の執行状況

	総事業費（億円）	R５年度まで 事業費（億円）	R５年度まで 執行率	残事業費（億円）
工事費	640.2	149.9	23.4%	490.3
測量設計費	152.1	148.9	97.9%	3.2
用地費及補償費	222.1	123.4	55.6%	98.7
工事諸費等	85.6	70.4	82.2%	15.2
合計	1100.0	492.6	44.8%	607.4

令和5年度の予算状況

	R５年度 当初（億円）	R５年度 補正（億円）	R５年度 合計（億円）
工事費	31.0		31.0
測量設計費	10.8		10.8
用地費及補償費	46.7		46.7
工事諸費等	5.6		5.6
合計	94.1		94.1

※工事諸費等：船舶及機械器具費、事業車両費、営繕費、宿舎費、

